

協働による環境学習推進事業

1 事業の概要

ごみ処理や景観などの身近な問題から地球規模の環境問題に至るまで、幅広く複雑多岐にわたる環境問題の解決には、県民一人ひとりの参加と多様な主体の協働による取組を地域において進めることが大切です。そのため、県では、地域のNPO等環境団体との意見交換や効果的な環境学習の企画提案の場として平成20年に設置した「岡山県環境学習協働推進広場」を基盤に、広場の登録講師を派遣して行う環境学習出前講座など、関係団体と行政との協働による環境学習を推進しています。

2 平成27年度実績

- ・環境学習出前講座の実施 324件
(温暖化 60 回、エネルギー59 件、自然 104 件、ごみ 69 件、持続可能な社会 11 件、その他 21 件)
- ・環境学習指導者養成講座の実施 25回
(基礎講座1回、OJT研修23回、フォローアップ講座1回)
- ・おかやま環境教育ミーティングの開催 参加者 159人
(8/18、岡山コンベンションセンター)
環境学習指導者、学校関係者、企業、環境NPO等の多様な主体が協働するきっかけをつくる場として実施



<環境学習出前講座>



<おかやま環境教育ミーティング>

担当部署

環境文化部 環境企画課 新エネルギー・温暖化対策室

環境学習エコツアー事業

1 事業の概要

環境問題に対する正しい理解と環境意識の高揚を図るため、小中学生や地域団体等を対象に、環境関係施設を見学、体験する「環境学習エコツアー」を実施しています。

2 平成27年度実績

参加者 3,964人（団体向け3,737人、個人向け76人）



＜リサイクル体験コース＞
紙リサイクル工場見学



＜児島湖・海コース＞
生物採取

担当部署

環境文化部 環境企画課 新エネルギー・温暖化対策室

アースキーパーメンバーシップ推進事業

1 事業の概要

地球温暖化を防ぐため、地球にやさしい生活に取り組む人たちを、「アースキーパー（地球を守る人）」として会員登録する制度で、会員がそれぞれの目標に取り組んだ1年間の取組結果（CO₂削減量）を計算し、お知らせします。

また、会員が集まり、エコワークショップやエコ講座等を楽しむ「アースキーパーのつどい」を開催します。

2 平成27年度実績

会員数 11,485人（県民版10,934人、事業所版551人）

アースキーパーのつどい2015の開催 参加者 283人

（12/23、岡山コンベンションセンター）



＜アースキーパーのつどい2015＞

エコ博士のエコ講座

担当部署

環境文化部 環境企画課 新エネルギー・温暖化対策室

地球温暖化防止活動推進員支援事業

1 事業の概要

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、県では、地球温暖化に関する現状・知識の普及、対策の推進を図るため平成14年から「地球温暖化防止活動推進員」を委嘱しています。

県下で活動している推進員は76名（平成27年度末現在）で、地球温暖化防止や環境保全、ゴミ・リサイクルなどの分野について、それぞれの地域や学校での講師活動や啓発イベントの手伝い、その他の普及啓発活動等にボランティアとして取り組んでおり、県では推進員研修会の実施等によりその活動を支援しています。

2 平成27年度実績

- ・ 推進員研修の実施 3回（4/19、10/24、11/6）
- ・ 啓発関係資材等の整備（うちわ・パンフ作成）



<推進員研修>

再生可能エネルギー施設（薪工場等）見学

担当部署

環境文化部 環境企画課 新エネルギー・温暖化対策室

児島湖ヨシの刈取り・リサイクル事業

1. 事業の概要

ヨシ群落は、児島湖の鳥類・魚類の繁殖の場として重要な役割を担っており、このヨシ群落を良好な状態に保つためには、冬季に枯れた茎を刈り取って株の再生を促すことが必要です。また、湖水に含まれる窒素やリンを吸収して成長したヨシを冬季に刈り取り、湖外へ持ち出すことが児島湖の水質保全に役立ちます。

そこで、ヨシの刈取り及びごみの清掃を行うとともに、刈り取ったヨシを廃棄物として処分するのではなく、リサイクルし、有効に活用しました。また、県内の児童・生徒が刈取りやリサイクルの一部を体験する機会を設けました。

2. 平成 27 年度実績

(1) ヨシの刈取り及びごみの回収

平成 27 年度は、総面積 31,890m²、総重量 34,200kg のヨシを刈り取りました。また、ヨシの刈取りとともにごみの回収作業を行い、ビン類や缶類などの不燃物約 270kg を回収し、民間処理施設で処理しました。

《ヨシの刈取り（岡山市南区北七区）》



《不燃ゴミの回収》



(2) ヨシを活用したリサイクル品

刈り取ったヨシを「バイオマス資源」としてリサイクルすることで、廃棄物を使用した製品開発や再生資材の利用を促進し、広くその利活用方途の普及を図りました。

その再生利用の一環として、マルチング材（土表面に敷き詰め土の乾燥や雑草の繁殖を防ぐ資材）や堆肥として利用しました。また、刈り取ったヨシを材料に児島湖の環境保全を啓発するための回覧板を作成し、児島湖周辺の町内会に配付しました。その内訳は以下のとおりです。

【利用方法】

マルチング材	27,600kg
千両ナス栽培（堆肥等）	5,600kg
回覧板作製用紙	1,000kg
計	34,200kg

《マルチング材として利用
白桃農園》



《ヨシを配合した紙で作成した
回覧板》



(3) ヨシの刈取り体験・工作体験

児島湖に親しんでもらうとともに、環境保全意識の啓発を図るために、高校生を対象にヨシの刈取り体験を実施し、小学生を対象にヨシを利用した工作体験を実施しました。

ア ヨシ刈り体験

岡山県立津山工業高等学校工業化学科の1年生 40 名が、ヨシの刈取りを体験しました。

《ヨシ刈り体験を行う津山工業高校の
皆さん》



《回収したゴミ》



イ 工作体験

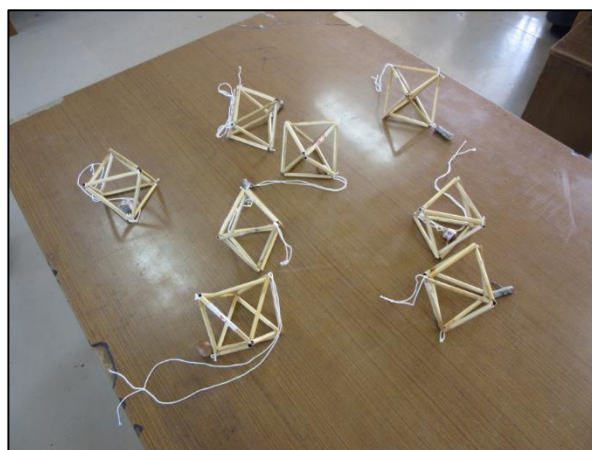
刈り取ったヨシを利用して、ヨシ笛や額縁、ヒンメリ（フィンランドの伝統的な装飾品）などの工作に取り組んでももらいました。玉野市立八浜小学校では4年生 24 名、真庭市立川東小学校では4年生 23 名、岡山市立七区小学校では3年生 24 名、玉野市立大崎小学校では3年生 20 名がヨシの工作体験に参加しました。

《ヨシの工作を行う

八浜小学校の皆さん》



《ヨシを使ったヒンメリ》



担当部署

環境文化部 環境管理課 水環境湖沼保全班

ごみゼロ社会推進事業（プロジェクト推進会議）

1 事業の概要

県内の廃棄物の発生抑制、再使用及び再利用を県民総ぐるみで推進するために設置した岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議により、各種計画の策定及び施策の企画立案等を行う。

2 平成27年度実績

平成27年4月20日 委員13名が出席し、第1回会議を開催した。

議題：Ⅰ 平成26年度の取組実績について

- 1 会議の開催
- 2 重点取組事業
 - (1) おかやま・もったいない運動の推進
 - (2) マイバッグ運動の推進・レジ袋削減事業の実施
- 3 その他普及啓発事業

Ⅱ 平成27年度の取組（案）について

- 1 会議の開催
- 2 重点取組事業
 - (1) おかやま・もったいない運動の推進
 - (2) マイバッグ運動の推進・レジ袋削減事業の実施
- 3 その他普及啓発事業



3 担当部署

環境文化部 循環型社会推進課 資源循環推進班

ごみゼロ社会推進事業（岡山県エコ製品の認定・PR）

1. 事業の概要

岡山県循環型社会形成推進条例第23条に基づき、平成14年10月に策定した「岡山県再生品の使用促進に関する指針」の周知徹底を図るとともに、条例に基づき創設した岡山県エコ製品認定制度の適正な運用を図ることにより、再生品の需要を喚起し、資源の循環的な利用を促進します。

2. 平成27年度実績

○岡山県エコ製品の認定等

グリーン購入対策会議を年2回（8月、2月）開催し、岡山県エコ製品の認定や品目の追加を行っています。

認定件数 350件 平成28年3月31日時点

○岡山県エコ製品等再生品の普及

巡回エコ製品等普及展示会等のイベントの開催、県の環境イベントでのPR、岡山県のホームページへの掲載、広報誌によるPR、認定製品リストの作成・配布等により、再生品のPRに努めるとともに、岡山県エコ製品をはじめとする再生品の使用を県民、事業者及び市町村へ働きかけます。

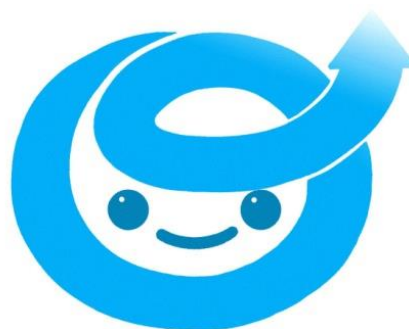
① 環境イベント等での展示会

- ・6月13日 くらしき環境フェスティバル
- ・6月14日 親子エコフェスタ2015
- ・7月7日 阪神中日戦（マスカットスタジアム）
- ・8月8日 ファジアーノ岡山
- ・10月4日 環境フェア in 吉備中央町
- ・11月13日 中四国環境ビジネスネット B-net フォーラム2015
- ・常設展示（テクノサポート岡山）

②エコ製品リストの作成



エコ製品・エコ事業所リスト



エコ製品認定マーク

担当部署 環境文化部 循環型社会推進課 資源循環推進班

循環資源情報提供システム整備事業

1. 事業の概要

岡山県循環資源総合情報支援センターは、廃棄物の適正処理に関する情報や循環型社会形成のために必要なリサイクルや適正処理などに関する情報を提供する、県の指定を受けた公益財団法人岡山県環境保全事業団が提供するサイトです。

2. 情報提供の内容

○産業廃棄物処理業者等に関する情報

岡山県、岡山市、倉敷市が許可した産業廃棄物処理業者を検索することができます。また、岡山県、岡山市、倉敷市が産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処分業者（特別管理を含む。）に対して行った行政処分等について公表しています。

○循環資源マッチング制度

事業活動に伴って排出される廃棄物を他の事業者を利用してもらうようマッチングを行うことで、循環資源を有効に活用し、循環型社会の形成を推進します。

3. 平成27年度マッチング実績

「譲ります」情報 261件
マッチング申込み件数 11件

「利用します」情報 153件
マッチング成立件数 0件

The screenshot shows the homepage of the '岡山県循環資源総合情報支援センター' (Okayama Prefecture Comprehensive Information Support Center for Circular Resources). The header includes the center's name and a navigation menu with links like 'リンク一覧' and 'ログイン'. The main content area is divided into several sections: '岡山県環境保全事業団' (Okayama Prefecture Environmental Conservation Association), '岡山県循環型社会推進課' (Okayama Prefecture Circular Society Promotion Section), '岡山市産業廃棄物対策課' (Okayama City Industrial Waste Countermeasure Section), and '倉敷市産業廃棄物対策課' (Kurashiki City Industrial Waste Countermeasure Section). Each section provides information about waste management and recycling initiatives.

The screenshot shows the '産業廃棄物処理業者検索' (Industrial Waste Treatment Business Search) page. It features a search form with various filters and options. At the top, there are tabs for '区分検索' (Classification Search), '事業区分検索' (Business Classification Search), and '県民局・市名検索' (Prefecture/Municipality Name Search). Below these are input fields for '会社名検索(ふりがなでも可)' (Company Name Search (Kana also acceptable)), '処理方法検索' (Treatment Method Search), and '施設設置場所検索' (Facility Location Search). There are also dropdown menus for '=全件表示=' (Show all) and '=事業区分=' (Business Classification). The main search area is titled '廃棄物種類検索: 普通産業廃棄物' (Waste Type Search: General Industrial Waste) and lists various waste types with checkboxes, such as '燃え殻' (Ash), '汚泥' (Sludge), '廃油' (Used Oil), '廃酸' (Waste Acid), '廃アルカリ' (Waste Alkali), '廃プラスチック類' (Waste Plastics), '紙くず' (Paper Waste), '木くず' (Wood Waste), '繊維くず' (Textile Waste), '動植物性残さ' (Animal and Plant Residue), '動物系固形不要物' (Solid Non-hazardous Animal Products), 'ゴムくず' (Rubber Waste), '金属くず' (Metal Waste), 'ガラス陶磁器くず' (Glass/Ceramic/China Waste), '鉱さい' (Slag), 'がれき類' (Debris), '動物のふん尿' (Animal Manure/Urine), '動物の死体' (Dead Animals), 'ばいじん' (Dust), and '産業廃棄物処理物' (Industrial Waste Treatment Products). Below this is a section for '廃棄物種類検索: 特別管理産業廃棄物' (Waste Type Search: Special Management Industrial Waste) with checkboxes for '揮発油類' (Volatile Oil), '腐食性廃酸' (Corrosive Waste Acid), '腐食性廃アルカリ' (Corrosive Waste Alkali), '感染性産業廃棄物' (Infectious Industrial Waste), '廃PCB等' (Waste PCBs, etc.), 'PCB汚染物' (PCB Contaminated Materials), 'PCB処理物' (PCB Treated Materials), '指定下水汚泥' (Designated Sewage Sludge), '有害鉱さい' (Hazardous Slag), '廃石綿等' (Waste Asbestos, etc.), '有害ばいじん' (Hazardous Dust), '有害燃え殻' (Hazardous Ash), '有害廃油' (Hazardous Used Oil), '有害汚泥' (Hazardous Sludge), '有害廃酸' (Hazardous Waste Acid), and '有害廃アルカリ' (Hazardous Waste Alkali). At the bottom, there are buttons for '検索' (Search) and '条件をクリアする' (Clear Conditions).

岡山県循環資源総合情報支援センターHP

産業廃棄物処理業者：検索画面

【関連ページ】岡山県循環資源総合情報支援センター

<http://junkan.pref.okayama.jp/junkan/home/Home!Index.do>

担当部署

環境文化部 循環型社会推進課 資源循環推進班

おかやま・もったいない運動推進事業

1 事業の概要

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた「3R」（発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））についての県民一人ひとりの意識改革と実践行動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を推進する。

2 平成27年度実績

① 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラム

- ぐらしき環境フェスティバル

日 時：平成27年6月13日（土曜日） 9時30分～16時30分

場 所：水島愛あいサロン [倉敷市水島東千鳥町 1-50]

内 容：講演会、体験コーナー、展示コーナー、クイズラリー

来場者数：3,000人

- 環境フォーラム in つやま～3Rと正しい分別でゴミを減らそう～

日 時：平成27年8月9日（日曜日） 13時30分～16時

場 所：グリーンヒルズ津山リージョンセンター [津山市大田 920]

内 容：講演会、体験コーナー、展示コーナー

来場者数：約300人

- くるりんクルクル～省資源・省エネルギー展～

日 時：平成27年10月4日（日曜日） 9時～15時

場 所：玉野市リサイクルプラザ [玉野市槌ヶ原 3072-1]

道の駅みやま公園 [玉野市田井2丁目 4464]

内 容：もったいない工作ショー、体験コーナー、展示コーナー等

来場者数：約4,800人

- 第11回わっしょい和んさか吉備高原フェスタ

日 時：平成27年10月4日（日曜日） 10時～16時

場 所：吉備高原都市センター区 さんさん広場周辺

[吉備中央町吉川 4860-6]

内 容：「もったいない料理」提供、体験コーナー、展示コーナー等

来場者数：約45,000人

エコライフ推進事業

1 事業の概要

自らのライフスタイルを見直し、家庭ごみの排出抑制（Reduce）を図る契機とするため、買い物にマイバッグを持参し、レジ袋の受取を辞退する普及啓発活動を推進する。

2 平成27年度実績

① 岡山県統一ノーレジ袋デーの取組

- ・毎月10日を「岡山県統一ノーレジ袋デー」と定め、事業者、消費者・環境団体、市町村と協働で、買い物の際に「レジ袋を受け取らないようにする運動」を展開し、レジ袋削減に対する県民意識の向上を図る取組を実施した。

参加店舗数 1, 550店舗（平成28年4月現在）

レジ袋辞退率 27.4%（平成28年2月現在）

- ・事業者へレジ袋辞退カード、ポスター、ステッカー等の啓発資材を送付した。
- ・若年層への啓発として小学4年生へマグネット配布、大学入学式・成人式にチラシ、エコバッグを配布した。
- ・6月及び11月のおかやまマイバッグキャンペーンでの啓発活動を実施するとともに、県及び各市町村発行の広報紙等において広報を行った。
- ・マイバッグ持参率等を把握するため、平成28年2月～3月に、県内15店舗でマイバッグ持参率等アンケート調査を実施した。

マイバッグ持参率 45.8%

レジ袋が有料になった場合、「マイバッグを持って行く」と

答えた人の割合 73.1%

<街頭啓発>



J R岡山駅前（6月10日）



高梁市（11月5日）

② マイバッグ・チャレンジ30の実施

グループでレジ袋削減に取り組み、レジ袋の削減効果を数値で「見える化」し、ごみの減量化、環境保全及び環境にやさしい生活スタイルへの見直しを推進するため、11月の「おかやまマイバッグキャンペーン」の一環として実施した。

参加者数	126グループ 881人
総レジ袋辞退回数	11,213回

③ ファジアーノ岡山公式戦「県民応援デー」における啓発業務の実施

ファジアーノ岡山のホームゲーム「県民応援デー」スタジアム前広場に環境啓発ブースを設置し、マイバッグ運動等についての啓発を実施した。

ファジアーノエンブレム入りエコバッグ配布（600個）

エコバッグ希望者にマイバッグ宣言を依頼（宣言者511名）

ノーレジ袋デー啓発うちわ配布（スタジアム入場者先着600名）

スタジアム内オーロラビジョンでマイバッグ運動啓発映像放映

（15秒間）



3 担当部署

環境文化部 循環型社会推進課 資源循環推進班

里海保全活動支援事業（海面アダプト事業）

1 事業の概要

（１）趣 旨

瀬戸内海の環境保全を推進することを目的に、平成１５年度から海洋レジャー関係の団体等が行う海面の清掃美化活動に対して支援しています。

（２）方 法

活動団体、地元市と県の３者で活動にかかる合意書の締結を行ったうえで、活動団体が船舶を使用して海面に浮遊しているごみを回収し、地元市の支援のもとに処分します。県は、清掃活動に必要な清掃用具の購入費等について助成しています。

2 平成２７年度実績

（１）活動実績

活動団体	活動日時	活動場所	活動結果
岡山県東部地区小型船安全協会（岡山市）	7月24日（金）	岡山港周辺海域	延べ41名
	9月25日（金）		延べ 7 隻
岡山県西部地区小型船安全協会（倉敷市）	7月24日（金）	水島港（玉島地区）周辺海域	延べ19名
	9月25日（金）		延べ10隻

（２）回収したゴミの概要

① ごみの量：２トン車４台分

② ごみの内訳

項 目	流木・草	ビニール・発泡スチロール	缶・ビン	ペットボトル	その他
割合（％）	59	14	9	7	11



担当部署

農林水産部 水産課 振興班

海底ごみ適正処理体制構築事業

1 事業の概要

平成15年度から、沿岸漁業者、沿岸漁業協同組合及び地元市と連携して海底ごみの回収・処理の責任分担の明確化、適正処理体制の構築に取り組み、これまで沿岸7市に13基の海底ごみステーションを設置し、漁業者の作業中に入網した海底ごみの回収を行っています。より一層活動を推進するため、新規ステーションの設置及び回収活動の取組拡大を行います。

2 平成27年度実績

(1) 海底ごみステーションの新設

寄島町漁業協同組合の海底ごみステーション1基の新設に対し、その経費の一部を補助しました。

(2) 海底ごみ回収推進チラシの作成

海底ごみ回収を呼びかけるチラシ1,000部を作成し、県内の海底ごみステーションを設置している漁業協同組合の組合員に配付しました。



海底ごみステーション



普及啓発チラシ

担当部署

農林水産部 水産課 振興班

スーパーエンバイロメントハイスクール研究開発事業

1. 事業の概要

廃棄物のリサイクル技術の研究・開発など環境教育を重点的に行う学校をスーパーエンバイロメントハイスクールに指定し、カリキュラムの開発、大学や研究機関との効果的な連携方策等について研究を推進し、課題に気づき、その解決に積極的に取り組むことのできる人材の育成を図るとともに、環境教育に関する教材を開発しています。

2. 研究開発実施校

○岡山工業高等学校（平成22～24年度）

校内や地域から出るコンクリートなどの廃棄物をリサイクルして、再生コンクリートを製造する研究に取り組んでいます。

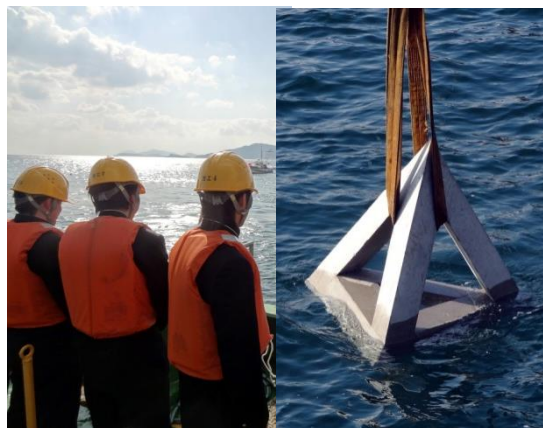
平成24年度は、製造した再生コンクリートを使ったベンチやテーブルなどの製品を、地域の小学校や幼稚園へ寄贈するなど、啓発活動に取り組みました。



○笠岡工業高等学校（平成22～24年度）

岡山県の特産品であるカキの殻を原料として、魚礁ブロックやアマモ養殖板を製造する研究に取り組んでいます。

平成24年度は、大学と連携して製造した魚礁ブロックを、地域の漁業協同組合と連携して笠岡沖に設置しました。さらに、海の現状の調査、アマモ養殖板の実用試験などに取り組んでいます。



○高梁城南高等学校（平成24～26年度）

ヒラタケ等の菌床栽培によって発生する廃オガクズを、ペレットストーブの燃料や、日本の伝統建材である三和土（たたき）や漆喰（しっくい）の材料として再利用する研究に取り組んでいます。

平成26年度は、三和土を用いた床面施工を行い、交流温室を完成させました。この温室を近隣の幼稚園児に開放したり、生産物の販売実習を行ったりすることで教育における循環型社会の推進に取り組んでいます。



○津山工業高等学校（平成27～29年度）

ESDの視点から地域の資源であるバイオマスの有効利用や生活廃油を利用した移動式の石鹼製造プラントを活用した出前授業を実施するなど、地域の活性化や環境意識の普及活動に取り組んでいます。

平成27年度は、廃材やプラスチックを再利用したものづくり工作教室や地域の小学生や成人を対象にした環境講座の開催、近隣の竹林整備活動などに取り組んでいます。



担当部署

教育庁 高校教育課 職業指導班